



自分も相手も守る境界線

開小学校 五年 新門 優奈

みなさんは、境界線という言葉を知っていますか。人は、それぞれ自分を守るために、透明な境界線を持っているのだそうです。からだの境界線、気持ちの境界線、持ち物の境界線、人によって大切なものが違うから、人によってその大きさが変わります。厚さが違うのだそうです。そして、この境界線がピンチになったとき、イライラしたりモヤモヤしたりする気持ちになるのだそうです。

私は、三年生の時、放課後児童クラブに入っていました。ある日、となりで宿題をしていた友だちが、とつぜん私の筆箱をのぞいて消しゴムを探し始めました。私はとつさに、「せんでー！」と言いました。すると、その友だち

は、ちよつとむつとした表情をしました。どんなに仲が良くても、許可なく使われるとイヤな気持ちになります。貸してほしくないなら、一言声をかけてくれたらよかったです。モヤモヤした気持ちになりました。そして、この出来事を思い出したのと同時に、「もしかして、私も友だちの境界線を勝手にこえるようになったことがあるかも……」という不安がわき上がってきました。

この学習をとおして、自分の境界線を守るために「いやだ！」と伝えることは大切だけれど、相手の境界線を守れることも大切だとあらためて気づきました。だから、相手の境界線を守れるように、表情を見たり気持ちを想像したりして接していこうと思いました。自分も相手も気持ちよく過ごせ、よい関係を築いていけるように、境界線を大切に過ごしていきたいと思います。

「先生のコメント」

この学習では、自分の境界線を相手から越えられた時の経験、その時の気持ちをみんなで考えながら進めました。優奈さんは、自分の経験と重ね、されただけでなく、してしまっていたのではないかと自分を振り返り、どうすればよかつたのかを考えることができました。今後も、親しい仲だからこそ境界線を越えてしまいがちになることもあるかと思いますが、人やその時の場面、関係性によって境界線は変化しますが、それを理解することでお互いを大切にしたいという関係が深められるはずだと思います。これからも、この学習を生かして、相手の表情を見たり気持ちを想像したりしながら、さらに豊かな人間関係を築いていってほしいです。



▲表彰式に出席された皆さん  
人権・同和对策室 (Tel.64-1544)

令和4年度みやま市男女共同参画推進キャッチフレーズ表彰式  
9月30日、みやま市男女共同参画推進キャッチフレーズ入賞者の表彰式が行われました。

▽最優秀賞  
参画社会は 男女の別なく 役割分担 齊藤 喜久枝

▽優秀賞  
男女共同参画の 初めの一步は 家庭から 松尾 菜穂子  
男女共同参画は おたがいを思いやる気持ちから 末吉 美知子

▽入選  
「男は「女は」と言うのはやめて共同参画 紙田 和保  
子つなぐ みやまの未来を 男女共同参画で 齊藤 喜久枝  
就職・子育てできる魅力ある町づくり共同参画 廣田 ノリ子  
豊かな 近所つきあい 大切な命を守る 共同参画 廣田 ノリ子  
明るい社会は 思いやる気持ちの男女共同参画 末吉 達矢  
女性の活躍、それを支える 家族と社会 野口 千賀子

みんなの幸せ願って

ノリ養殖業 境 まゆみさん

「全国的にも有名な『福岡有明のり』の生産に携われることにやりがいを感じています」と語る境さんは、夫と、夫の両親とともにノリの養殖業を営む。頼れる先輩たちとの出会い 熊本から嫁ぎ、夫の家業であるノリの養殖に携わるようになった。「知り合いがいない場所でノリ養殖業に就くのはとても不安だったけど、同業の女性の先輩たちが皆さん優しく本当に助かりました。『体調は大丈夫？』『がまだすね』との声掛けが嬉しかったです。歳も近いので一緒にランチに行ったり、レッシュしたり、周りにそういった先輩がいてくれてありがたいと思います」

娘たちの応援が力に 「オンシーズンは娘たちと過ごせる時間が少なくなってしまうけど、夜、海に出るときに『頑張つてね』と見送ってくれたり、学校の準備を自分たちでしてくれたり、娘たちも協力してくれています。夜のちぎりを見に行きたい」と言っていて行つたこともあるし、船に乗って海まで手伝いに来てくれることもあり。私たちが娘が興味を持つてくれたことがとても嬉しくて、力になります。夫も驚くバワフルさ 以前は介護の仕事に就き、体力には自信があつたという境さん。「もともと自信があつた体力だけれど、ノリを始めてからもつと丈夫になりました。夫も『強いね』と驚くくらいです。自分の長所を活かすことができるこの仕事に合っているのかもしれない。徐々に作業にも慣れてきて、今では夫とコミュニケーションを取りながら楽しく作業することができるようになりました。これからは健康第一で、より多くのの人に安全安心で美味しい『福岡有明のり』を届けるために頑張ります」



さかい まゆみ  
趣味は韓国ドラマを見ること。休日には家族で出かけるのが楽しみです。  
【好きな言葉】  
なるようになる  
【みやま市にひとこと】  
自然豊かで人が温かいところがみやま市のいいところだと思います。

みやま文芸

真清水俳句会

秋祭くるま座となり酒を酌む 梅野 博山  
栗饅頭売り切れてゐる観音寺 紙田 幻草  
落人の里は野菊の迎へをり 榊島美代子  
音立てて仲良しこよし木の實際降る 平井 和子  
紅葉下茶席の宴を開きけり 宮地 末子  
彼岸花赤と白との競い合い 森田 蓉子  
清水句会 綿貫 惇  
相集ひ栗名月を寿ぎぬ 綿貫 惇  
朝霧の生れてたゆたふ峽なりし 田尻カツ子  
初鴨の影となりゆく夕まぐれ 綿貫 淑子  
散策の人の行き交ふ十三夜 古賀 麗子  
日矢写る川面の鴨の水尾長し 岩屋 清美  
日の落ちて川風冷ゆる十三夜 壇 篤子  
流れゆく雲の間の十三夜 猿渡 洋子

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。

